

# 縄文時代の生活体験

井戸尻考古館

## ぼろ機織りや丸木弓の的当て



丸木弓の体験で的を狙う来館者

富士見町の井戸尻考古館は5日、縄文・ぼろ機織り体験を同館前広場と歴史民俗資料館で開いた。「こどもの日」

に併せた行事。両館とも無料開放し、家族連れらでにぎわった。

コロナ禍の影響などで中止

していたため、この時期に開催するのは4年ぶり。火おこし体験などのほか、初参加の住民有志グループ「井戸尻応援団」による実際の縄文土器を使った拓本体験もあった。当時あった素材を使用して道具を作ることが売りの体験会。丸木弓の的当てでは、大人も子どもも夢中になって、鹿やイノシシの絵が描かれた的を狙っていた。母親と来場した諏訪市城南小学校の木岡冬也君(10)は「的を狙って弓を放つのは難しいが、やっているうちに当たるようになる。楽しい」と喜んでいった。

ぼろ機織り体験は同館で活動する機織り愛好グループ「紅蓮・織りの会」が指導。縄文体験は、ろう石を鉄平石で削って完成させる飾り玉作りが人気だった。同館は「縄文時代にあつた道具を使って当時の生活を体感し、過去のことに興味を持ってもらえればうれしい」と話していた。